

# 2019年10月 研修説明会報告

2019年10月5日(土)17:00より、総合診療棟東棟5階第6カンファレンスルームにおいて、岡山大学産科婦人科学教室研修説明会を開催しました。後期研修医1名、初期研修医5名、医学部生4名が参加してくれました。みなさん教室から発信する様々な情報に対して熱心に耳を傾けていました。



まず増山教授より、教室には以前より確立してきた研修プログラムがあり、各自の希望する分野、進路いずれにも対応できる受け皿があるというご挨拶を頂いた後、教育医長から研修内容について説明を行いました。産婦人科専門医研修の必要症例数が改正されて執刀数が増えたことから、同門全体で手術指導が活発な岡大への入局は有利であることをお話ししました。それから岡大病院初期研修での産婦人科特別プログラムと先進コースの具体的な研修内容と、産婦人科を選択した後の後期研修プログラムについて説明しました。入局後、最初の6ヶ月間は岡山大学病院で研修し、産婦人科臨床の4領域の基礎を研修する間に学会発表、論文投稿ができるよう指導しています。その後2年間、性質の異なる二つの連携病院(3次施設と1・2次施設)で1年毎の研修を行い、最後の6ヶ月は再度、大学病院に集まり専門医試験に備える体制を整えています。同期の絆は大切であるため、大学と一緒に研修スタートすることを勧めています。結婚・家庭の事情等で関連病院からスタートする先生方に対しても、全分野を勉強し専門医取得できるよう配慮しています。

続けて教室から3名の先生方にロールモデルとして、自身のこれまでのキャリアを振り返っていただきました。専門医試験を突破し、大学院生となり専門分野での臨床・研究を開始しようとしている先生、大学院卒業を控え、サブスペシャリティー研修や医学教育に情熱をそそいでいる先生、そして大学院卒業後も基礎研究に邁進しながら、臨床現場でも責任ある立場で奮闘中の先生、それぞれが多彩な経歴に基づいて熱弁をふるって下さいました。参加者からも、幅広い選択肢をもった医局と感じたという声が聞かれました。



懇親会では医局員も大勢集まり、終始和やかな雰囲気では盛況でした。学生・研修医のみなさんは、更に色々な立場の先生達と話ができて、実り多い1日になったのではないのでしょうか。そしてこの日に入局を決めて下さった研修医の先生もおられて、医局員も心から感激致しました。2020年度からは初期臨床研修に産婦人科が必修科目として復活するなど改革されていく中で、医局としても教育の役割は大きくなっていると感じます。この会で出会えたみなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。